古典の魅力をさぐる
古今集講座を開く
～木津分館～

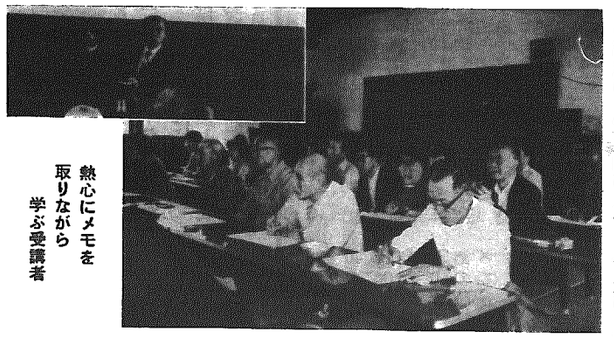
木津分館では、古典に親しむ文化講座として今年は、古今集講座を開設。四月二十八日第一回目の講座には、三十余名が出席しました。

古典文化講座は、昨年同分館が取り組んだ万葉集講座の続編として、古今集講座を計画し講師には、昨年に引続き新津高校有坂巌教諭が当ることとなりました。

この講座は、定期的に月一回、四月から八月までの第四水曜日の午後開かれますが、講師の有坂先生のお話しは、歌の解説、鑑賞のほか歴史的背景にも詳しくふれ、歌の素養が全くなくとも楽しく聴けることから回を追って魅力的な講座になるのでは、と期待されています。

当の有坂先生も木津分館の講座は「大勢のお年寄りが熱心にメモを取りながら聴講される姿に、すっかり感激しました。木津分館の講座には何をおいても行きましょう。」と大変な熱の入れ方です。

木津分館では、一人でも多くの方が受講されるよう望んでいます。


熱心にメモを取りながら学ぶ受講者

6月7日は 計量記念日

とんちクイズに「綿一トと鉄一トン、どちらが重い」というのがあります。もちろん同じなのですが、うっかりすると「鉄のほう」といってしまいそうです。

近ごろでは〝はかり売り〟が少なくなりましたから、私たちは、量や重さなどの計量に対してあまり注意を払わなくなっています。

たとえば、食料品店ではミソ、肉をはじめとして袋づめやパック入りの商品が幅をきかせています。

買い物をするとき、計量はそっちのけで値段ばかりに気をとられていませんか？。六月七日は計量記念日これを機に身の回りの計量器具を点検したり、買い物をするときは量目が適正かどうかを確認するなど〝はかる〟ことへの関心を高め正しい計量の知識を身につけたいものです。

中小企業従事者への 災害対策資金貸付制度

◎利用できる人

中小企業に雇用されており、次のいずれかに該当する者。

1. 災害で自己又はその家族が負傷し、概ね一ヵ月以上医師の治療を必要とするもの
2. 災害で自から居住する住宅が全壊（焼）流失、半壊（焼）又は床上浸水したもの
3. 災害で家財の全体の1/4以上が滅失又は損壊したもの。
4. 豪雪で災害救助法の適用を受けた市町村、又は豪雪で著しい被害を受けたと知事が認めた市町村で、屋根の雪おろし、その他で臨時に資金を必要とするもの。
5. その他、知事が必要と認めたもの。

◇貸付条件

貸付金額　10万円以上30万円まで

貸付利率　年6％

貸付期間　3年以内

償還方法　元利均等月賦（据置3ヵ月以内）

◇申込期間

昭和57年4月10日～昭和58年3月20日まで。（貸付枠を超えると打切り）

◇取扱金融機関

新潟県労働金庫

◇申込方法

申込書（2部）に関係書類を添え、労働金庫本・支店に提出してください。

（申込書は県労政課、労政事務所、労働金庫本・支店にあり）

◇その他

災害には火事、ガス爆発、交通事故等の人為的事故も含まれます。

東北電力 作業停電

6月12日（土）	午前8.00～11.30	二本木寿団地全部
	〃	山崎パン附近
6月21日（月）	午前8.00～11.30	川根谷内の一部（横越寄り）

横越歌壇作品

雪国の春待つ歌よ早春賦口ずさみつつ物洗いおり　長谷部静恵

草も木も明らかに若芽光りおり雨上りたる今朝のわが庭　南場　愛子

雪解けの畦わたりゆくせきれいの小きざみ歩むたしかな足どり　戸石ジュン

坂の上に今を盛りと梅咲けりともしきものは見るのみ過ぎつ　田村　忠雄

燃えつきて風に引かれる紙の灰冬晴の空に向いて舞いゆく　中川美英子

放送の転作説明聴きおれず春めく田にきて畦を塗るなり　遠藤　左岸

この風は春一番かあけがたの雨戸を揺らす音のはげしさ　佐久間　順

畦土に塗られんとしたるざりがにがここを先途とはねて逃げたり　田村　茂理

植え替えて玉葉に水をやりおれば背に春日の息吹伝わる　田村きよし

おりたちし畑にためろう春寒き風に傍へ竹うちそよぐ　建部　すま

野鳩啼くまだ明けやらぬ窓明り寒さ忘れて心はずみぬ　田辺タケノ

見放くればかすみ濃き五頭の奥処より弥生の空の徐々に晴れゆく　白柏　紗妥

早起野球

三連覇をねらう農協
32チームで熱戦展開

第八回早起き野球大会は、五月二十四日から開幕されすでに一回戦が終ろうとしています。

今年の出場チームは32チーム、昨年を一チーム上廻る出場数で優勝の行方が注目されますが、今回の組合せを見ますと、三連覇をねらう横越農協と、昨年の村民野球大会で優勝した二本木クラブが二ブロックの会場で実力を二分しており、この大会を最後まで面白くしそうです。

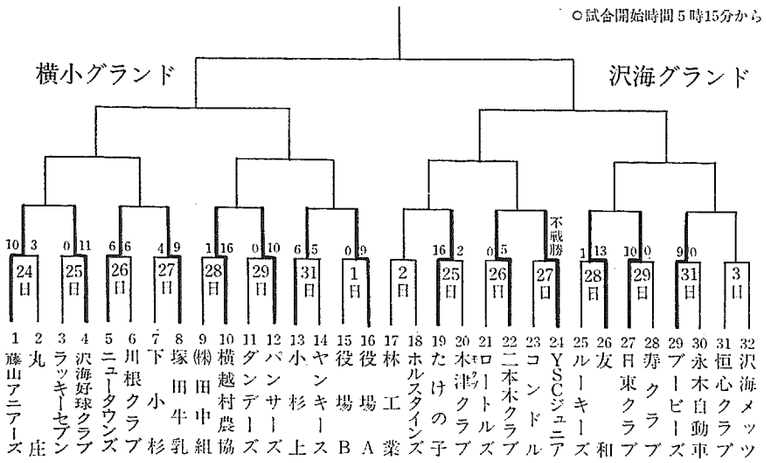
二十四日からの一回戦では横越農協、二本木クラブ、パンサーズ、沢海好球クラブなど予想通りの強豪チームが順当に勝ち進んでいます。これから二回戦の見どころでは横越農協対パンサーズ、それに今年初出場のYSCジュニアが二回戦で二本木クラブと対戦、高校生で組織している若いYSCジュニアが強豪二本木クラブを相手にどこまで戦えるかが見どころとなりそうです。

（表は六月一日現在）

どきどきはらはらの抽選会

組合せ表

○試合開始時間5時15分から



《この人を訪ねて》 アイディアで生れ変る衣服

小杉　宮沢リイさん

消費は美徳、などという言葉が一時流行語になるほど私たちの日常生活が豊かになり、家庭用品などがどんどんと使い捨てられてきましたが、オイルショック後それが一変して資源を大切に、というリサイクル運動がはじまりました。

アイディアマンである小杉の宮沢リイさん（農業47才）は、古くなった衣類に手を加え、新しい感覚の服に作り直し普段着や作業着をつくり楽しんでいます。

中学時代から洋裁が好きで弟や姉の古着をつぶして新しい服に仕立てていたというだけに経験が豊富。再生されたエプロンやガウンそれにセカンドバックなどはどれも使いやすく工夫をこらしたものばかり。これを家族や親類、近所の人にあげて喜こばれています。

「こんなの好きでねばできねわね」という宮沢さんですが、自分の羽織を再生してガウンを作ったものなどは、県の農業婦人研修会に発表したものとか。

「今の若い人は、こんなことをしないですぐ買ってくるわね」という言葉に、私たちが普段何げなく使い捨てになれてしまっていることを反省させられるようでした。

よくお年寄りが「もつたいない」という言葉を使いますが宮沢さんを訪ねて、いろいろなものを使い捨てている私たちの生活を見直す必要があるのではという気がしました。

羽織がすてきなガウンに

（環境週間）
6月5日～11日
汚すまい
みんなの住む国
生きる村

わたしたちが望む、快適な生活環境とは……まずさわやか空気、そして静けさ、のびのびと大手を振って歩ける通り、緑あふれる公園、何よりもゴミのない清潔な村など、いろいろあげることができます。いま、わたしたちが住んでいる村の環境はどうでしょうか。

かつては田園が広く見渡すことが出来た所が今は住宅や工場が建ちならび、道路は広く舗装され、橋は架け替えされ、用水路は護岸されるなど、村の環境もずいぶんと変りました。しかしこのように生活環境がよくなっても、そこに住む人達の心がけ一つでその環境は良くもなり悪くもなります。

道路や河川敷ではゴミの山下水や空地の管理が悪くハエや蚊の発生源となっている。こんな環境をみなさんの身の回りに見たことはないでしょうか。

明るい村づくりとか、清潔な環境などは、めいめいの家の周りを片づけることで「環境は見違えるほど変るものだ」と、ある古老が申しました。

住みよい環境は、そこに住む人の心がけと郷土愛にかかっているようです。こんな気持で私たちの環境を見直して見ましょう。